



t ampopo nursery
and
preschool

たんぽぽ保育園

(紹介・案内)

～もくじ～

たんぽぽ保育園の概要	… 1 ページ
保育・教育・養護について	… 2~4 ページ
子ども像(園目標)	… 5 ページ
今、取り組んでいる保育について	… 6 ページ
本園・分園紹介	… 7 ページ
年間行事	… 8 ページ
開園時間、持ち物等	… 9 ページ
保育園の1日	… 10 ページ
本園	
0歳児 ひよこ組、1歳児 うさぎ組	… 11 ページ
2歳児 きりん組、3歳児 ぞう組	… 12 ページ
4歳児 ぱんだ組、5歳児 らいおん組	… 13 ページ
ゆしま分園	… 14, 15 ページ
ほんごう分園	… 16, 17 ページ
しんはな分園	… 18, 19 ページ
こととい分園	… 20, 21 ページ
すくすくひろば、一時保育(ばんび)	… 22 ページ
給食、保健など	… 23 ページ
お散歩コース	… 24 ページ



たんぽぽ保育園の概要

『設立経過と趣旨』

たんぽぽ保育園は 1978 年（昭和 53 年）4 月 1 日より、社会福祉法人「あしたばの会」が設立・経営する「たんぽぽ保育園」として開園されました。

その前史は、東大病院に勤務する看護師が出産しても働き続けられることを願って 1964 年 2 月 3 日に園児 1 名、保育士 1 名で設立された無認可保育所「東大保育所」であり、その後、第一次石油ショックと日本全体の経済（財政）危機のあおりを受け経営困難に陥った為、無認可保育所を解散し、東京大学の理解と協力により土地と建物（旧園舎）の無償貸与を受け社会福祉法人を設立し、たんぽぽ保育園に引き継がれました。

『法人の設立趣旨』

- ①働く女性の就労を支援する。
- ②産休明けから就学前までの保育を実施する。
- ③「研究・教育・医療」活動を理解、協力する。
- ④子どもたちの健やかな成長・発達の保障、そのための保育条件・環境の向上を目指す。
- ⑤この地域における保育を必要とする児童の保育と福祉の増進に貢献する。

『事業の変遷』

- ・昭和 58 年 3 月 365 平方メートル → 685 平方メートル（定員 80 名 → 108 名）
- ・昭和 63 年 9 月延長保育一夕方 7 時 15 分まで開始。
- ・平成 12 年 4 月一時保育（パンピ）開始。
- ・平成 14 年目白台緊急一時保育開始。（平成 18 年、区の都合で廃止）
- ・平成 14 年 4 月ゆしま分園創設（0 歳 6 名、1 歳 6 名、2 歳 7 名—計 19 名）
- ・平成 21 年 7 月子育て支援「すくすくひろば」開始（自主事業）
- ・平成 22 年 4 月ほんごう分園創設（1 歳 6 名、2 歳 7 名、3 歳 7 名—計 20 名）
- ・平成 24 年 9 月しんはな分園創設（3 歳 4 名、4 歳 10 名、5 歳 10 名—計 24 名）
- ・平成 28 年 4 月こととい分園創設（1 歳 7 名、2 歳 9 名、3 歳 12 名—計 28 名）

『たんぽぽ保育園の保育目標』

- (1) 健康で明るく元気に遊べる子ども
- (2) 自分も友だちも大切にできる子ども
- (3) いろいろと自分を豊かに表現できる子ども
- (4) よくみて、よく聞いて考えて行動できる子ども
- (5) 命を大切にできる子ども

「教育と保育（養護）」とは何か

「教育・保育・養護」について考える

「前 文」

一戦後70年間、保育園（社会福祉事業法）と幼稚園（学校教育法）は、二つの根拠法を基に夫々の役割が区別されてきました。そのため、保育園では教育は「行われてない」「行うところではない」等といった理解が一部にあり、少なくとも一般社会においてもそうした評価、見方が長年続いてきたといえます。しかし、大多数の保育園、保育士の活動の中には戦前から戦後を通じ現在に至るまで「教育と養護」が含まれており、日常の保育活動においても、こうした考え方と捉え方で保育計画を作成し、長年実践されてきています。

平成27年度からスタートが予定されている新制度＝「連携型認定子ども園」は、数年間の検討を経て、制度的に新たな課題や不十分なところを残しつつも「保育園と幼稚園」を一体化し「保育と教育」を戦後初めて法的に統一の方向で進めようと考えられたものです。（私は少なくともそのように捉え一定評価しているし、主張もしてきました。）

しかし、「幼児教育」と「小学校教育」との関連について、「連携」強化を強調する「考え方」が中心で、具体的に「乳幼児教育」との繋がりや内容・在り方に関し、総合的、かつ概念的説明が十分されておりません。こうした現状の中で「乳幼児期」の「教育・保育」について、理解が進むよう、私なりに以下に考えてみました。

「教育と保育（養護）」の内容は、子どもたちの成長・発達に伴い乳児期から幼児期そして小学校へと連続的に繋がっていくものであり、個から集団教育可能年齢への成長についても同様です。「集団教育」は3歳から、「保・幼・小連携」を積極的にといった捉え方、説明からでは「乳幼児教育」との具体的な繋がりについて理解することは困難といえます。乳幼児期の「保育と教育」は、子どもたちの成長、発達にどのような効果を上げているか「数字」で評価することに困難があり、さらにその「内容と方法」が正しい否かについても決定づけることはできません。しかし、6年間の保育園生活の中で、就学を迎えるために様々な能力を身につけ、人として大切な生活習慣、生きていくために必要な社会性と心身の基本が確実に育ちます。

わが国の場合「前述」したように「保育」の中に「養護と教育」の意味が含まれているという捉え方と理解が戦前から一般的に「保育関係者」の中でされてきました。また、幼稚園関係者等の中で、長年にわたり幼児「教育」における、福祉的要素の重要性やその位置づけについて、残念ながら十分にされてき

たとはいえない。私は「保・幼」で行われている乳幼児における「保育と教育」の内容と「援助・指導」方法（内容）が小学校入学と同時に教科中心の教育に変るため、子どもたちが戸惑う状況が報告されており、その課題（問題）を解消するためには「保・幼」との繋ぎのあり方、その指導方法に子どもたちが無理なく移行していくよう専門的検討及び研究が急がれるべきと考えます。

繰り返しになりますが、乳幼児期の「教育」「保育」そして「養護」は、小学校に入学し、人として成長していくための最も重要な基礎作りであり、しかもこの「三つの課題」それぞれが独自性をもちつつ、一体的で、重なり合い日々の「教育・保育」活動の中で展開され、子どもたちの成長・発達の連続性の中で身についていくものと考えています。こうした考えに基づき、それぞれの内容について統一的（共通）に理解することが可能になるよう考えてみました。

三つの概念的説明

1) 「教 育」について（教育的視点と考え）

- (1) 能力の基礎を育てる→「豊かな知識・学力（課業）・運動・技術（制作）・絵画・音楽」等社会人として生きていくために必要とされる手段、方法等に繋がる基礎を育てる（＊最近強調されている非認知能力（社会情緒能力）を育てることも重要である。）
- (2) 教養力の基礎を育てる→教養力とは「人格、人間性、豊かな心、お互いの関係を認め合う・自尊心、社会性・規範・ルール等（自分を認められる、他者を認められる、他者から認められる）、異文化の理解等」等をさす
- (3) 健康な身体力の基礎を育てる「健康な身体と心」→食事・総合的な身体能力（運動力・機能）と心（精神）を育てる

○以上「3つ」の力を育てるための方法

- ①子ども自身の自発性、主体性等を育てる豊かな「生活と遊び」を基本に友だち、集団遊び等を保障し、個々人の能力、自尊・自立心を育てる。
＊当園では、こうした考え方（理念）の下に、子ども一人ひとり（個）を大切にする生活面を中心とする担当制、小グループ保育に努力・推進している。幼児についても、こうした考えを基本に保育を進めており、子どもたちの活動・保育内容によっては「一斉保育」（的方法）ではなく、集団遊びとして位置づけ活動している。
- ②豊かな環境の保障→「遊具、教材、教具、ホール、プール、自然（散歩、小動物の飼育、栽培）等と人的保障が不可欠である。
- ③一人遊び、協同、総合的遊び、縦割り保育、集団遊びの保障
協同遊びは、月齢・年齢を超えた友だち、集団で行い、流動性を大切にコミュニケーション、社会性・規範力を育てる
保育園（クラス等）でのコーナー等を活用し、一人遊び、共感遊び、協

同遊び等の多様な遊びを保障する。

そのためには、ホール、園庭、屋上、様々な散歩コース等の場所と環境を活用し、自然の移り変わりに触れ、感性が育つ多様で変化に富んだ遊びが大切である。

④職員の専門職としてのスキル、モチベーションの向上が必要であり、そのための園内外の研修とシステムの確立

⑤利用者（保護者）、行政（制度・予算・環境・人の配置・研修等）と地域社会の理解、協力、支援が大切と考え実施している。

2) 「保育」について（福祉としての視点・考え方）

すべての子どもが等しく「公平・平等」に「教育・保育（養護）」を保障する。—「月齢・年齢・発達の違い、家庭、生活（経済）、出身、職業、言葉、能力の違い、国（生まれ、心身の障害）」等で差別・区別しない保育その根拠として「憲法・児童福祉法、教育基本法、子ども権利条約」等を基本に理念として捉えることが大切である。

3) 養護について（生命の維持・保障という視点、考え方）

「乳幼児（障害者、高齢者）が一人の人間として成長していくために特別の援助・保護が必要と考える。（生命の維持と成長、発達の保障）

乳幼児期の生命の維持、生活習慣（食事、排せつ・着脱・決まりごと）の基礎、感（受）性、生活力、言葉、自立（律）、規範力の確立」等」を援助し保障することが養護である。（小学生、中学生においても不可欠であり重要）

(*) 「公的教育」について（私見）

(1) 日本（人・社会）の姿（かたち）・在り方・規範の基となる憲法・教育基本法・児童福祉法等を正しく学ぶことを保障する。

(*) 世界に通じる人（子ども）を育てるためには「国際法・国連憲章・子ども権利条約」等も教えることが重要

(2) 人として、社会人として自由に生きるための力（能力・学力・多様な価値観等）が育つことを保障する

(3) 社会的人間を育てる—自由と人格の保障、他者と相互に承認し合える「・自分を承認できること・他者を承認できること・他者から承認を得られること」・・・自尊感情、他者の尊重、言葉、異文化の尊重

(4) すべての子ども達を「区別、差別」なく平等に育てる。（言葉、生活習慣、異文化、多様性、いろいろなハンディ等）

—平成25年5月（記）—

（その後若干修正・加筆）

保育と教育について

保育園の
責任と役割



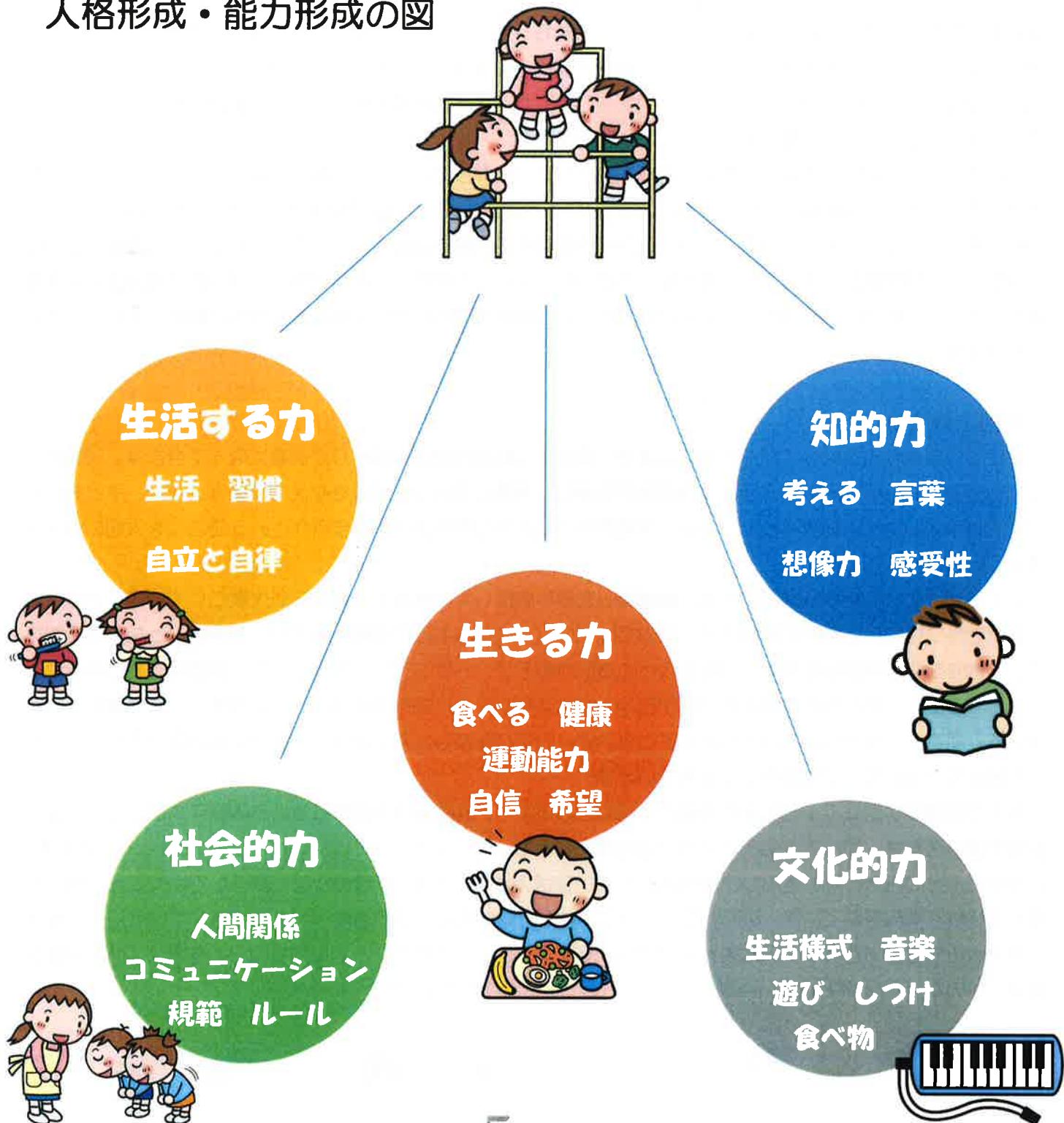
園目標



人格や能力形成の
過程、基礎作り

保育園においては責任と役割は園目標として掲げています。また、その目標を具体的に進めるにあたって、園では各年齢の子どもの姿・発達を捉え、生活と遊びを通して、人としての人格や能力形成の過程・基礎作りをしていきます。

人格形成・能力形成の図





「一人ひとりを大切にする保育」「自主性を育てる保育」 ～今 取り組んでいる保育について～

たんぽぽ保育園

☆一人ひとりを具体的に大切にする☆

「散歩に行くからトイレに行こう」など一斉に声を掛けることや皆で一緒に外に行くことやお部屋に入ること、みんなそろって給食を食べることなど皆で一斉に行動をすることを減らしています。大勢で同じ行動をすることで子どもたち1人ひとりの待つ時間が増えてしまうからです。待つ時間が長ければ長い程、子どもの「やりたい」という気持ちを薄くしてしまうのでできるだけ子どもの待つ時間を少なくなるようにしています。

トイレに行くタイミングは一人一人違うので個別でトイレに誘うこと、乳児組は少人数で食事をすることなど、保育者と親密な関わりを持てるようにしていくことを行っています。食べ方、スプーンの持ち方、姿勢なども丁寧に見て行けるよう少人数で順番に担当の保育士と食べています。特に0, 1, 2歳児の時期に大切なことは生活面（着脱、排泄、食事）を通して、自分の世話をしてくれる大人の表情や声の調子、言葉かけの内容などから、自分を大切にしてくれると感じる

ことです。それが自己肯定感と他者を信頼することにつながっていき、その大人を大切だと感じるようになります。そしてその大人が心のよりどころとなり子どもの情緒の安定につながります。こういった一人一人にしっかり向き合うことで、十分にやってもらったから今度は自分の事を自分でやってみようと3, 4, 5歳児につながり自立していきます。3, 4, 5歳になってからも一人一人の姿をきちんと把握しながら自主性、主体性を尊重し、子どもたちが自分で決め、考えて行動できるよう保育士の言葉かけや対応に気を付け関わっていくようにしています。

☆自主性を育てる☆

子どもの自主性を伸ばしていくためにはまず、自分から動きだせる環境作りが必要になってきます。玩具をいつでも自分で好きに選んで遊べるような環境を設定し、発達に見合った玩具を整えています。また、子どもたちが生活しやすいように配置されているか、保育者がどのように声を掛けふるまうかといったことを大切に考え保育しています。

子ども達は遊びの中から学び、考え、興味関心を持ち成長していきます。私たちが大事にしていることは自分で遊びをみつける自由遊びの時間です。室内ではブロックや積み木などの構成あそび、おままごとの役割あそび、指先を使う操作的なあそび、粘土などの造形的あそび、トランプやパズルなどの知的認識を高める遊びなどの玩具を揃え、子どもたちはそれぞれ自分が好きな事をみつけ遊べるようにしています。一人で集中する遊びに取り組む子、友だちと関わって遊ぶ子と思い思いの遊びを楽しんでいます。子どもたちは自分でやりたい遊びを選んでいるのでとても集中して遊んでいます。

戸外では散歩や園庭で十分に身体を動かす時間を設けたり、集団遊びや自然に触れる体験を大切にしています。自分で遊びを考え、選んで決める事は「自分ならこうしよう、こうしたい」という主体性も育っていきます。乳児期に十分に自分の思いを出し、きちんと大人がなぜなのか、どうしてなのかななど話をしていくことで自分で考える経験を積み重ねていき、幼児になった時に子ども自身に気付かせる言葉かけを繰り返していくことで自分で考え判断できる力を育てたいと考えています。そうすることで周りのことや友だちのことを考え「いま何をすればいいのか」「どうすればよいのか」判断して行動できるようになると考えています。



たんぽぽ保育園（本園）

所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷7-3-1
TEL 03-3812-4091
FAX 03-3812-6496

HP <http://www.ashitaba-tanpopo.com/>

ゆしま分園（分園）

所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷3-10-18 湯島総合センター3階
TEL 03-3816-0092

ほんごう分園（第二分園）

所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷2-36-9 西ビル1階
TEL 03-5840-8608

しんはな分園(第三分園)

所在地 〒113-0034
東京都文京区湯島2-31-1 三友ビル1階
TEL 03-6240-0569



こととい分園（第四分園）

所在地 〒113-0031
東京都文京区根津2-13-8 ピアンカ根津1階
TEL 03-5809-0541

年間行事

- 4月・・・入園式、進級式、事業説明会、新卒園児を励ます会
- 5月・・・子どもの日の集い、春の遠足（3,4歳児）
- 6月・・・歯科健診、乳児親子運動会
- 7月・・・七夕の集い、夏祭り、プール開き、
5歳児クラス飯能合宿
- 8月・・・新卒園児交流会
- 9月・・・防災引き取り訓練、お年寄り感謝の会
- 10月・・・幼児運動会、秋の遠足（2～5歳児）
- 11月・・・収穫祭、焼き芋大会
- 12月・・・劇遊び、クリスマス会
- 1月・・・お正月遊び、もちつき大会（保護者合同）
- 2月・・・節分、卒園観劇
- 3月・・・ひなまつりの集い、お別れ会、卒園式

※誕生会、避難訓練は毎月行います。
※保育参観とクラス懇談会は季節ごとに行
います





【開園時間】 ●7:15～19:15

【延長保育】 ●延長保育時間・・・18:15～19:15

●対象年齢・・・0～5歳児

●料金・・・文京区の方針により、保育料10%とさせて頂きます。

●ポイント利用料金・・・500円（おやつ代含む）

【毎日の持ち物】 ●0, 1歳児・・・個人連絡帳

●2歳児・・・個人連絡帳、リュック、タオル、コップ、コップ袋

※0～2歳児・・・毎日使う口拭きタオル、食事用エプロン、紙オムツは個人用の引き出しに入れておくようお願いします。

●3、4歳児・・・リュック、タオル、コップ、コップ袋、（ハブラシ）

●5歳児・・・リュック、コップ、コップ袋、ハブラシ、ハンカチ

★毎週金曜日に園帽子の持ち返り、シーツの付け替えをお願いします。
(行事により変更になることもあります。)

【年末保育】 12/29.30は年末保育を承ります。有料

【障害時保育】 文京区からの申請があった場合受付いたします。

【一時保育】 本園に隣接した別棟で一時保育をご利用いただけます。

●開所時間・・・8:30～17:30

●対象年齢・・・0歳8ヶ月から

【すくすく広場】 ●開催日・・・毎月第4木曜日

(行事等により変更になることもあります。)

●対象・・・0～2歳児の親子

※参加費無料



年齢ごとのデイリープログラム

0才

	7:15	9:15	10:30	12:00	14:30	16:00
順次登園 → 必要に応じて補食・午前寝など	自由遊び	食事	お昼寝	ミルク・おやつ	自由遊び	降園

☆0歳児☆

登園後一人ひとり検温・視診を行います。朝起きた時間や1人ひとりのリズムに合わせ、午前寝を個別に合わせて入れ、1日の身体のリズムをつくる（整える）よう配慮しています。保育者と信頼関係を作り安心して過ごせるようにしています。遊びは1人ひとりに合った内容を考え、離乳食・授乳は、家庭のリズムに合わせながら個々に対応しています。基本的に食事・排泄・着脱・睡眠・移動等は担当の保育者が行い、安心して生活を送れるようにしています。（遊びでは、色々な保育者と関わるようになっています）午睡後は、午前と同様個々に離乳食や授乳、オムツ交換などを行い、自分の好きな遊びを選んで過ごしています。

1・2才

	7:15	9:15	11:15	12:15	14:30	16:00
順次登園 → 合同による自由遊び	各年齢に分かれた遊び	食事	お昼寝	おやつ	自由遊び	降園

☆1・2歳児☆

一日の流れの中でも生活習慣（食事・排泄・着脱など）の自立を基本としています。

1、2歳児は登園後、自由に好きな遊びを選んで遊んでいます。各年齢別の活動では、基本的に2グループに分かれて、戸外遊びや静的遊び（粘土・お絵かき・製作など）、ホールでは体を動かす遊びを行っています。0歳児クラスと同様に、食事・排泄・着脱・睡眠・移動等は担当の保育者と行い、心の安定を大切にしています。食事は担当の保育者と2～3人ずつ順番に食べ、排泄は、個々の間隔に合わせて行くようにしています。お昼寝後はおやつを食べ終わった子から、遊びに入ります。

3~5才

	7:15	9:15	9:30	11:30	13:00	14:30	16:00
順次登園→自由遊び	朝の挨拶	計画保育	食事	お昼寝	おやつ	自由遊び	降園

※登園したあと、個々のリズムに合わせて補食・水分補給を行うこともあります。

☆3・4・5歳児☆

計画保育では、基本的に静（製作、絵画など）の活動と動（運動遊び、散歩活動など）の活動を行なっています。

幼児組は集団生活の大切さを基本として活動計画を行事や普段の一日の生活の流れの中で立てています。食事では4.5歳は食事の配膳（盛り付け）を自分で行なっています。

本園

○歳児 ひよこ組（18名）

☆○歳児で大切にしたいこと・・・基本的信頼感・安定感を確立する

首が座り、ハイハイができるようになると一気に世界は広がり興味も広がるこの時期。ここで大切にしたいのが手指をたくさん使って遊ぶこと！興味を持ったものに触ったりすることで知力が育ち、脳の発達、身体の発達も促します。砂・土・水に触れながら全身を使って遊んでいます☆ また、食事は保育者が一対一で介助しながらも子どもたちの食べる意欲を育てています。そして、ハイハイができるようになると、ついつい早くアンヨしてほしい！と思いつがちですが、ここは楽しみな気持ちをぐっとこらえます。アンヨをするための身体作りやバランス感覚、丈夫な足腰をハイハイで作っていくので、ハイハイの時期を大切にしてあげてくださいね♪

<保育室から>

ひよこぐみは9人、9人の2グループに分かれて過ごしています。子どもたちが安心して過ごせるよう、少人数での空間づくり、1人ひとりに丁寧に関わり保育者との信頼関係を大切にしています。グループは月齢を混合にすることで、お互い良い刺激をもらったり、1人ひとりに合わせた配慮や働きかけをしっかりできる環境を整えるよう工夫しています。

活動によって高月齢、低月齢に分かれて散歩をしたりホールなどで遊んだりもしています。1人ひとりの子どもの心の安定などに配慮できるよう、食事やオムツ交換、着脱などいつも決まった保育者と一緒に行う育児担当制をとっています。



1歳児 うさぎ組（18名） ☆1歳児で大切にしたいこと・・・探索活動を保障し見守る

この時期は自我が芽生える大切な時期です。だんだん「自分で！」などの気持ちも芽生えています。イヤイヤもこの成長の一つ。自分の思いと違う思いがあることに気付き、その中で子どもたちは葛藤していきます。難しいな、と感じることが多くなるかもしれません、「自分でなんて無理」「どうして言うことを聞いてくれないの」なんて思わず、「自分で」という子に対してはその意欲を大切にして、さりげなく手伝っています。自分でできた喜びを一緒に味わい、たっぷり褒めて自信、意欲へつなげています☆イヤイヤに対しては、気持ちを立て直すきっかけをわかりやすい言葉で話しながら作ってあげ、気持ちを立て直す力をつけていきましょう。



<保育室から>

うさぎぐみは9人、9人の2グループに分かれて過ごし育児担当制をとっています。食事、排泄、着脱等いつも決まった保育者と行うことで安心して遊びにも集中する姿が見られています。1人でたくさん歩けるようになって行動範囲が広がり、探索活動が活発になってくる一歳児。見て、聞いて、触れて、匂いをかいでのりの世界を感じ取り、思わず言葉が出たり、物と名称が一致して言葉と結びつく時もあるので、園庭遊びや散歩を取り入れています。子どもたちは沢山歩き回り、アリやダンゴ虫など興味津々でみていますよ！



2歳児 きりん組（18名）



2歳児で大切にしたいこと・・・自我の育ちを受け止める

この時期の子どもたちは自立の第一歩を歩み始めます。「自分で食べる」「自分で着替える」「自分でトイレに行く」大人の援助が少なくなっています。なかなか「自分で」とならない時は、着やすい衣類・やりやすいボタン・履きやすい靴など自分で出来る達成感を味わえるようにしてあげましょう☆ また、遊びではごっこ遊びが上手になってきます。まねっこ遊びを通して人との関わり、社会性が育っていきます。また外にお散歩にでかけ、自然の中で身体をいっぱい動かして遊んだりします。自然は子どもたち的好奇心を引き出し、感性を育て、考える力を育てる、子どもたちにとってとても大切な遊び場なのです。

<保育室から>

きりんぐみは18人一クラスで過ごし育児担当制で一人ひとり丁寧に関わっています。

ブロック・列車・粘土・絵本・おままごと等、お部屋でもお庭でも、自分のやりたい遊びをみつけて、それぞれが楽しんでいます。

ごっこ遊びがさかんになり、経験したこと遊びで楽しむ姿が見られるようになります。友だちと遊ぶことが楽しくなってきます。友だちと手を繋いで歩く散歩の機会も増えて楽しんでいます！



3歳児 ぞう組（21名）



3歳児で大切にしたいこと・・・自立心を育むこと

3歳児になるともうほとんどの事が自分でできるようになります。でも、まだまだできるまで時間がかかります。ついつい「はやく！」と言ってしまいがちですが、出来る限り子どものペースでやらせてあげましょう。時には出来ないけれど、「できる！」なんて言ってしまいますが、子どもたちの自我の育ちと自尊心を大切にしてあげたいですね♪さらに、仲良しの友達もできてきて、友達同士一緒に同じことをして遊ぶことが楽しいと感じるようになります。もちろんケンカもしますが、子どもたち同士で少しずつ話もできるようになってきます！自分の気持ちを言葉で伝えることを大切にしています！

<保育室から>

お友達と一緒に遊んだり、ケンカしたり。友達同士の関わりがより一層楽しくなる年齢のぞう組です。室内では、「おうちごっこ」や「保育園ごっこ」などお互い役になりきり、身体や言葉で表現して楽しんでいます。

また、戸外で思いきり体を動かして遊ぶことも大好きで、毎日「お庭いく？」「お散歩いく？」と楽しみにしています。お庭に出るとサッカーをしたり、おおかみと7ひきのこやぎごっこ、あぶくたったなどの簡単なルールのある遊びで、汗びっしょりになりながら元気いっぱい楽しく遊んでいます！



4歳児 ぱんだ組（21名）



4歳児で大切にしたいこと・・・自発性や意欲を育てる事

一日の生活を見通し、行動できるようになる4歳児。生活習慣が確立されてきます。お話するのもとても上手になり、自分の気持ちや体験したことを自分の言葉でしっかり話せるようになります！さらに、ちょっと大変かな、と思うようなことでも、粘り強く頑張り、少しずつ我慢もできるようになってきます。人との関わりもより濃くなってきて、お友達同士でルールのある遊びができるようになります。その反面、ケンカもありますがお友達の気持ちが少しずつ分かるようになり、一緒に遊ぶことがもっと楽しくなってくる年齢です。

<保育室から>

友達と一緒に遊ぶことが楽しくなってきたぱんだ組。年長クラスと混ざってドッヂボールをしたり、鬼ごっこをしたりと集団遊びを楽しんでいます。お部屋では、レゴブロック、ラキュー、おえかき、廃材遊びなどで集中して遊ぶ時間が増えています。

みんなと一緒に行事を一つ一つ経験することで仲間意識が深まり、ケンカもたくさんするけれど、大好きなお友だちと関わり合い、歩み寄って楽しく過ごしています。「みんなで一緒に何かをする！」ということが楽しく感じられるようになり、友だちのことがさらに大好きになっています。



5歳児 らいおん組（20名）



5歳児で大切にしたいこと・・・主体性と社会性を育てる事

年長児の5歳児は、就学に向け自分たちで見通しを持って生活できるよう身のまわりのことを自発的にできるように働きかけていきます。また、人との関わりでも様々な活動を通して、役割分担をして助けあったり、協力することの大切さを知っています。役割分担は、自分たちで話し合って決めていくことで、相手の気持ちに気づいたり、困ったときにどうすれば良いかを考えるきっかけをつくっていきます。グループでの活動や、運動会などの行事を通して友達の力を認めたり、励ましたりするようにもなり仲間関係が深まっていきます。遊びも、ダイナミックな遊びと集中する遊びを一日の中でバランス良く取り入れ、自分たちで遊びを作り出したりするようになります。

<保育室から>

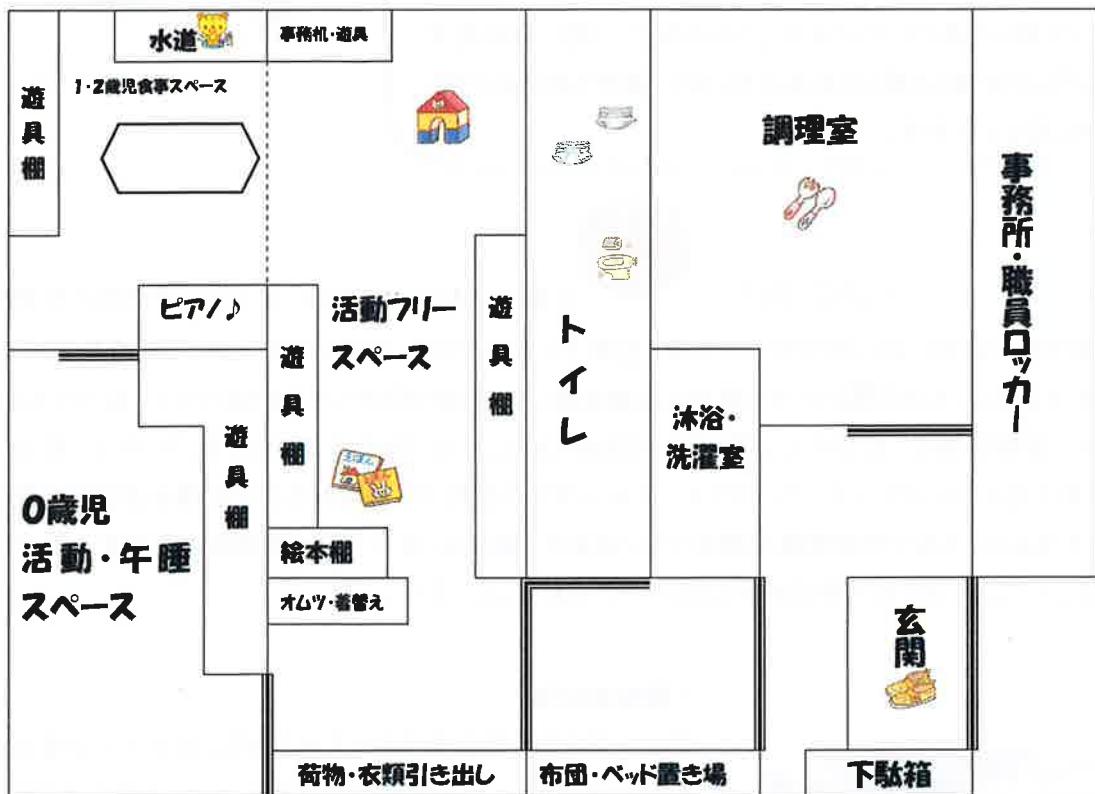
グループでの当番活動も取り入れながら、自分たちで考えて行動することを大切に生活を進めています。一日の流れを話し、子ども達が自分で時計を見ながら行動できるようにしています。また、一週間の活動なども伝えると少し先の予定も楽しみにする姿も見られていますよ！

毎週決まった時間にラジオ聴取を行っていますが、話を聞く力や想像力を養う事、表現力を豊かにすることをねらいに取り組んでいます。



ゆしま分園

0歳児ちゅうりっぷ組（6名） 1歳児ひまわり組（6名） 2歳児ゆり組（7名）
 定員 19名の分園です。少人数クラスなので、とてもアットホームな保育園です。後半期は
 1・2歳児で合同の異年齢児保育を行っております。異年齢児が一緒に過ごすことで、1歳
 児は2歳児に憧れを持ちながら同じことができるよう挑戦したり、2歳児は年下のお友
 達に優しく接しようとしたりと、お互いに良い影響を受けながら日々を過ごすことができる
 のが特長です。



先生、なにするの？
早くやってみたい！





ちゅうりっぷ組

今年度の0歳児は月齢も様々でそれぞれの生活リズムに合わせて日々ゆったり過ごしています。

また、陽気がいいときにはベランダへ出て外の風を感じたり、月齢に応じて夏場は水遊びもしています。今後、さらに動きが活発になり保育者も目が離せなくなりそうです。



異年齢児保育



ひまわり組



ゆり組

1・2歳児クラスは例年、合同で過ごすことが多くありましたが、今年度の前半はクラスごとの活動を中心に過ごしています。今後、後半に向けて合同で過ごす時間も増えるでしょう。近所のお寺や広場、春木町公園へよく行きます。水道公苑では、おたまじゃくしや力工房、メダカにカメまで…たくさんの生き物が生息しているので、観察をしに出かけています。

夏は、屋上に設置された大きなプールで本郷分園のお友だちも一緒に水遊びを楽しみます。

ひまわり組さんはゆり組さんの影響をたくさん受けて、遊びも食事も排泄も、少しずつ自立していきます。遊具の貸し借りの言葉かけ、スプーンやフォークを使って食事を最後まで一人で食べようしたり、オムツよりも早くパンツを履きたくなったり…

ゆり組さんは、小さいお友だちに優しく声をかけたり、できないことを手伝ってあげたりとお世話を自分からしようとするが多くなります。



ほんごう分園

ほんごう分園は1歳児もも組6名、2歳児いちご組7名、3歳児めろん組7名の計20名の分園です。

2、3歳や1、2歳の活動を取り入れた異年齢保育を行っています。園庭がないほんごう分園では、自然に触れたり、しっかりと身体を動かすなどのねらいをもって散歩にも出かけています!

* 1歳児 もも組(6名) *

一人ひとりじっくり関わりながら保育しています。入園後、園生活に慣れ始めた頃から少しずつバギーでの散歩にも出かけています。保育園での生活が初めてのお友だちもいるので、無理なく少しずつ慣れていくように日々考えながら保育しています。

朝夕は大きいクラスのお友だちとも関わりながら過ごしているので、上のクラスに憧れの気持ちを持ったり一緒に遊んだりもしています。



* 2歳児 いちご組(7名) *

1クラス年上になったことで、意欲的に生活をするようになります。一人ひとりじっくり関わる保育をしながらも、身の回りの自分で出来ることも少しずつ増えています。年上の子に憧れを持ちながら、年下の子への接し方も知っていき、遊びや友だちとの関わりが広がっていきます。

* 3歳児 めろん組(7名) *

ほんごう分園の中で一番上のクラスになったことで、更に意欲的に生活・遊びを進めていき、身の回りのほとんどのことは自分一人で出来るようになっていきます。クラスの友だちとの関わりだけでなく、年下の子どもたちとの関わりも自然と身についてきます。色々な遊び方をすることで、年下の子どもたちの憧れになっています。



★主な活動★

[室内]

- ・お絵かき・製作・新聞紙ちぎりや小麦粉粘土・片栗粉粘土、夏のフィンガーペインティング・絵の具遊び等
- ・鉄棒・マットなどの運動用具を使った遊び、リトミック・体操・歌・楽器などの遊び等
(※それぞれの年齢での発達や個別の興味に応じて取り入れるようにしています)

【戸外】

- ・散歩・・・真砂児童遊園・水道公苑・台町公園・東大構内・春日児童遊園、等々
(※散歩先も年齢の発達に合わせて、固定遊具での全身運動や歩くこと、たくさん走ること、自然に触れることなどに応じての場所に出かけています)

【行事】

- ・日常の保育の他に、誕生日会・節分・クリスマス会などの行事や本園との合同での夏祭りや運動会もあります。
- ・3歳児を中心に野菜の下ごしらえなどのクッキングや栽培・昆虫飼育なども行っています。
- ・夏になると3歳児は本園のプール、1,2歳はほんごうやゆしま分園でのプール遊びをやります。



クッキング



ボディペイント



節分



台町公園



水道公苑



東大構内

*保育室…朝夕は全クラス一緒に過ごし好きな遊びを楽しみながら異年齢での交流も図っています。

各クラスのコーナー（環境設定）は子どもの様子や時期を見て変えています。



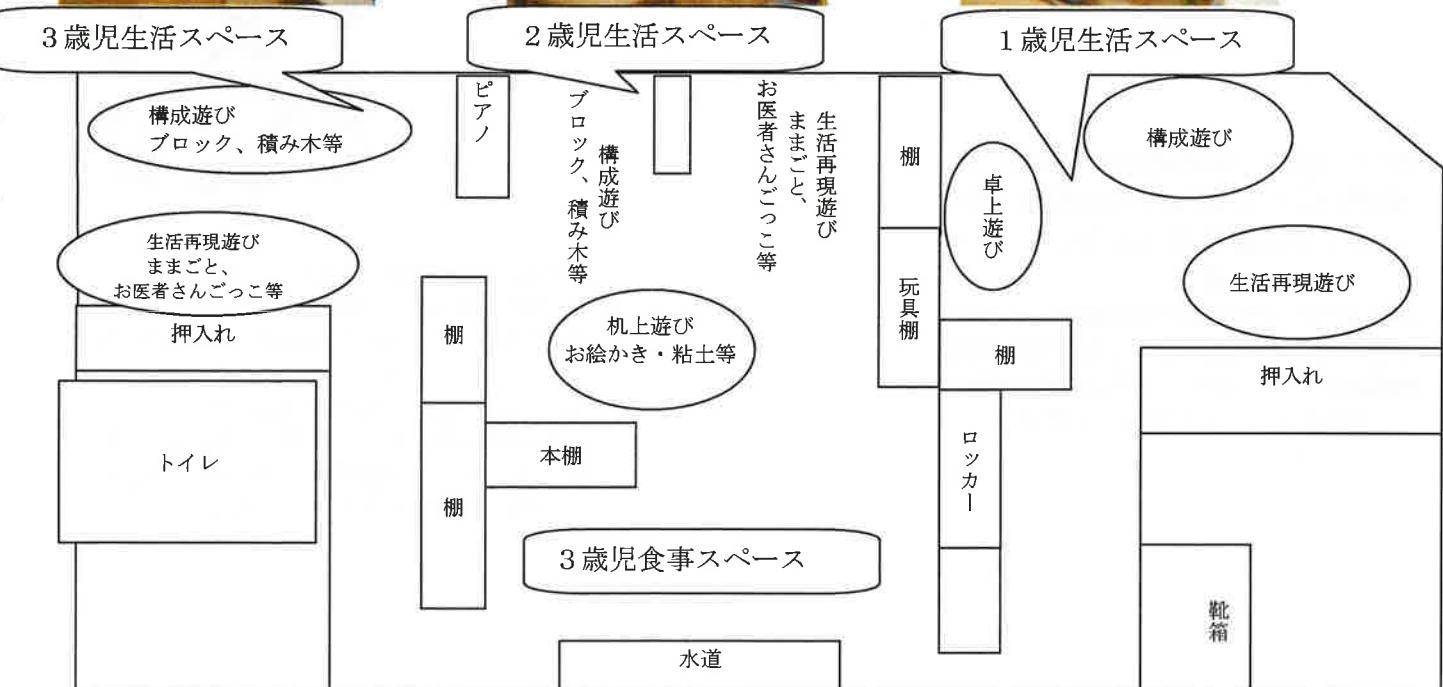
3歳児生活スペース



2歳児生活スペース



1歳児生活スペース



しんはな分園

一緒に生活する中で優しさ、いたわる気持ち、あこがれの気持ちが育っています。

生活や遊びを異年齢で一緒にすることで自然にそれぞれの年齢の役割を感じて行動するようになります。5歳児の年長の子どもたちは生活の中で中心となり、生活習慣や身の回りの事を見通しを持ってしっかりとやることで年齢の小さい子ども達はそれを見て自然と学んでいきます。遊びの中でも大きい子が遊んでいる様子を見ながら一生懸命真似をして同じようにやってみたり、出来ない時は自分より大きいお兄さんやお姉さんに「どうやってやるの?」「手伝ってね。」と頼りにしている姿が日々見られます。



しんはな分園は…

制作、音楽（楽器遊び）、描画、体育遊びなどは個々の年齢発達に合わせて少人数で行うようにしています。

少人数で行う事により保育者がしっかりと関わることが出来て子どもたちとの信頼関係の中で、聞く力や考える力や集中力が育っていくと考えています。

自分で好きな遊びを見つけて十分に遊ぶ。

（自主性・主体性を育てる）

☆制作コーナー・・・お絵かきの紙、折り紙、粘土、廃材などが置いてあり自分で好きな物を出してきて描いたり作ったりしています。

年齢や発達に合わせて使う道具のルールを決めてあり、出来ない事（ハサミ、セロテープ）は年長児が手伝ってあげたりしています。

☆ままごとコーナー・・・生活再現遊び、役割遊び、ごっこ遊びなど子ども達は大好きです。年齢に関わらず一緒に我が家ごっこやレストランごっこなどを楽しんでいます。

☆机上遊び・・・カルタ、すごろく、パズル、トランプなどはお友だち同士が集まって椅子に座り落ち着いて遊ぶ姿が見られます。

☆絵本コーナー・・・3~5歳児の年齢に合わせた絵本、図鑑などが置いてあります。クッションが置いてあるので静かにしたい時、ちょっと休みたい時のくつろぎスペースです。

☆ブロックコーナー・・・デュプロやレゴブロックで、車、電車、コマにロボット、家などイメージを広げ、友だちと協力し合って作り上げています。

☆ホール・・・課業の中での運動遊びで、巧技台、鉄棒、長縄、跳び箱、リズム表現などを行っていますが、おやつ後は運動遊びコーナーとして自由に走ったり、縄跳びやボール遊びなどを楽しんでいます。（遊びの内容は子どもたちからの希望でその日の遊びを選んでいます）



各年齢に担任職員がいますが、ワンフロアなので一緒に生活したり、遊んだりしているので〇〇組の「先生」というより「みんなの先生」という感じです。

担任だけでは気付かない面も複数で見ていくこと色々な気付きがあったり、楽しいエピソードを話し合ったりして、職員全員でそれぞれの子どもたちを見守るようにしています。

しんはな分園 見取り図

定員	3歳クラス	6名
	4歳クラス	12名
	5歳クラス	12名

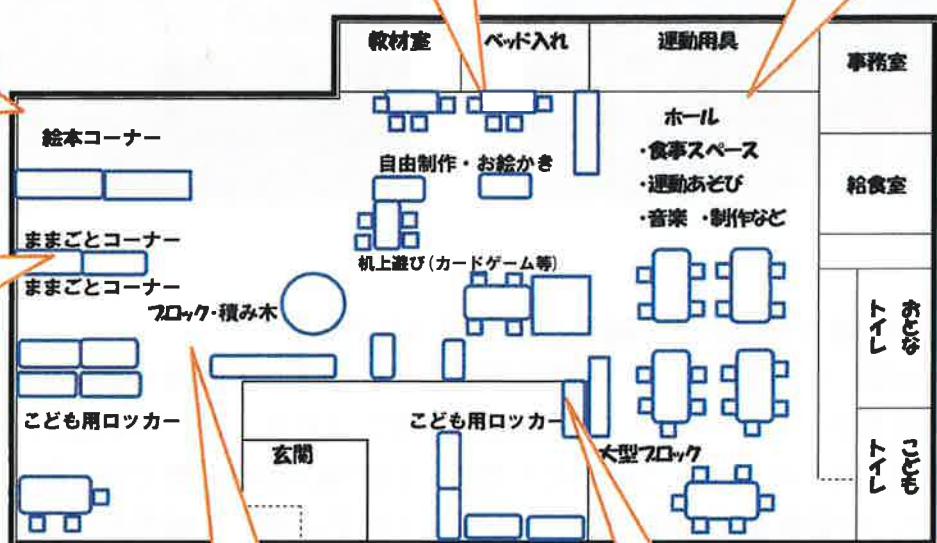


子どもたちの大好きなコーナーです。廃材を使った自由制作やお絵描き、折り紙、粘土、などがあります。

巧技台を使った運動遊びからボール遊び、縄遊び、集団遊びなども楽しんでいます。制作、描画、楽器遊びなどは少人数でゆったりと取り組むようしています。

絵本を読んだりくつろいだりできます。

ままごとコーナーは「リビング」と「キッチン」に分かれていて、お化粧したり、お料理を作ったりして



ブロック、積木の他に、ラキュー、ワミー、文字ブロック、アイクリップなどなど、おもちゃのバリエーションも豊富です。

作った物は棚に飾つておけるから、遊びたい時にすぐに使えます。お友だちが作った物を借りたりもします。



こととい分園

○1歳児りす組（7名）

個々の関わりを大切にし、食事・排泄・着脱は1対1でしっかりと関わってみしていくようにしています。食事は個々によって食べられる量が違うのでその子あった量を調節しています。排泄に関しても入園して慣れてきた頃からトイレに促し、排尿感覚を見たりして個々の感覚でトイレに促すように心がけています。着脱も一人ひとり丁寧に声かけしながら行っています。



○2歳児ぺんぎん組（10名）・3歳児こあら組（12名）

2, 3歳児は縦割りクラスとして一緒に保育しています。2歳児も個々を大切にしていくという基本保育を軸として1対1で生活習慣を見ています。排泄や手洗い、着替えと個々の成長に合わせて促していくようにしています。3歳児は自分で考えて行動する事の大切さ、進んで行う。又この保育園では最年長児として年下の子に優しく接する大切さを大事に保育しています。2歳児の子が3歳児の子に憧れを持ちながら、遊びを真似してみるなど縦割り保育ならではの良さが出てきています。



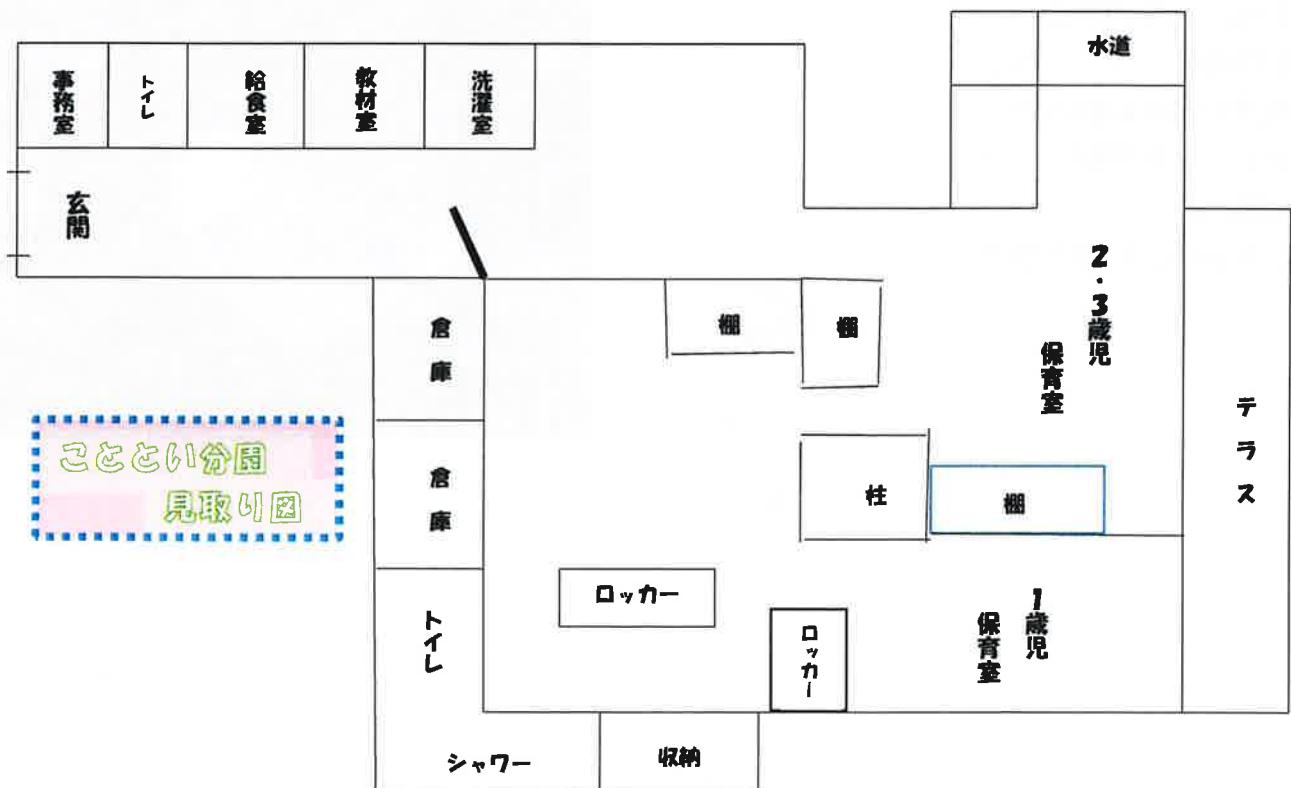


☆活動内容☆

お天気の良い日には根津神社、不忍池、本園や公園などお散歩を楽しんでいます。散歩では自然に触れたり、地域の方との触れ合いや友達と歩くことの大切さを知り、健康な身体作りや体力向上を計っています。1歳児も歩けるお友達は保育者と手を繋いで片道歩いたりもしています。また各月ごとに絵画や製作、遊びでは手指を使った遊びを取り入れたり、リズム遊び、楽器に触れる遊びなど毎日、子ども達の発達に応じて活動内容を考えています。雨が続く日なども室内でも十分に身体が動かせるように工夫しています。

夏場は、テラスでプールを楽しんだり、本園の大きなプールで遊んだりします。

日々の遊びの中では、おもちゃを充実させじっくり遊びこめるように環境づくりにも工夫しています。



子育て支援「すくすく広場」

たんぽぽ保育園では、毎月1回、地域の0,1,2歳児のお子さんを持つ家庭を対象に、子育て支援『すくすくひろば』を行っています。お子さんと同じ年齢のクラスに入り、子どもたちの遊びを親子で一緒に遊んだり、子育ての悩みや健康面での気になる事など、保育士や看護師に相談できます。

毎月、身体測定も行っていますよ。

また、保育園の様子や運動会などの行事の見学をしたり、離乳食説明会など定期的に行っていく予定です。
ぜひ一度遊びに来て下さいね！



一時保育「ばんび」

一時保育の利用者さんは、お子さんを預けるのが初めてという方が多くいます。初めてのことはお母さんもお子さんも不安でいっぱいです。泣いてしまう子もいますが、お子さんの気持ちを汲み取りながら声掛けしたり、遊びに誘ったり、誘うと少しずつ慣れてきて徐々に気持ちを切り替えてくれます。お部屋でブロックやままごとを楽しんだり、園庭遊びや時にはお散歩に行って楽しめます。

安心できる雰囲気作りをし、お子さんたちと仲良くなれるように楽しい事をたくさん考えています。

☆こんな方々が一時保育室ばんびを利用されています☆

- ・兄、姉の学校、幼稚園行事への参加
- ・通院、出産のため
- ・親自身のリフレッシュ
- ・集団生活を経験させたい
- ・母子分離を経験したい
- ・母親の就労
- ・仕事復帰にむけてなど



♪給食について

- ・給食は日本人の食事摂取基準を基に、一日の 50%程度が摂れるように昼食とおやつの献立をたてています。
- ・地域の業者から毎日、安全で新鮮な食材を購入しています。
- ・手作りを基本とし、冷凍食品・調理済み食品（ハンバーグ、唐揚げ、市販のルーなど）は使用しません。
- ・乳幼児期の味覚形成の為に、食材の味を生かした薄味を心掛けています。
- ・季節の献立、行事食、お誕生会メニューなど目でも楽しめる食事作りをしています。
- ・アレルギーのお子さんへの対応は、医師の検査を受けて頂き、その診断のもとで除去食の相談に応じ個別に対応しています。

♪保健関係について

- ・健康診断・・・0歳児クラスは嘱託医による毎月健診、1歳児クラスから5歳児クラスは年4回健診があります。
歯科検診は年一回、4歳児クラス、5歳児クラスは視力検査も行っています。
- ・投薬・・・医師の処方を受けたものに限定し認めています。
- ・オムツ・・・感染症、衛生上の管理等を考えて紙オムツを使用しています。
(ご家庭で用意して頂いています)

♪保護者との懇親・交流

- ・バーベキュー大会（年1回）、新年お餅つき大会等を開催しています。

Enjoy Walking!

散歩道マップ

いろんな植物や
生きものたちに
出会えるよ!

▼東京大学構内



金魚坂

ほんごう分園



旧岩崎邸庭園

安田講堂

見あげるような
イチョウ並木!

ザリガニが
釣れる
三四郎池!

東

竹久夢二美術館

北

本富士署
消防署

春日通り

西

日本サッカーミュージアム

ゆしま分園

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

南

東

北

西

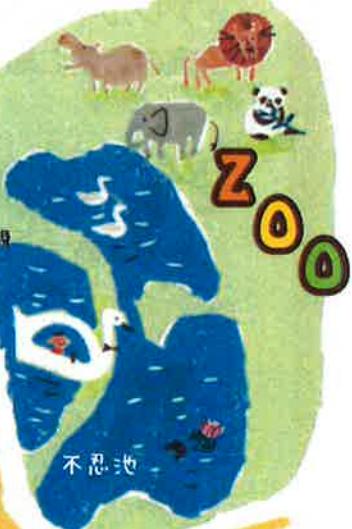
南

こじとい分園



▲上野動物園

上野動物園



不忍池

上野広小路

しんねむ分園

湯島天神

▼不忍池

